

第37期 経営士養成講座のご案内

本部、研修プログラム委員会による「第37期経営士養成講座」が5月より開講されます。千葉支部からも、山田 一 会員、山下恭司会員が講師として参加されます。

会員の皆様には、新たな私たちの仲間を迎え入れ、本会を発展させていくために、是非お知り合いの方等に講座へのご参加を呼び掛けて頂き、ご協力賜わりますようお願い申し上げます。

○受講対象者

大学卒業程度以上の学識と実務経験7年以上を有する者で、次のいずれかに該当する方。

1. 経営コンサルタントを目指す人
2. 企業内の経営・管理リーダーを目指す人
3. 企業の経営者、後継者、経営幹部候補者

詳細はこちらをご覧ください。

http://www.keieishikai.com/seminar_el/keieishi_37ki.html

※資料が必要な場合は、支部までご請求ください。

○研修期間

1. 期 間 : 平成24年5月～7月
2. 日 数 : 11日間 (土曜日・日曜日開催)

○研修会場

ホテル・アジア会館

〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-32 (地図参照)

電話: 03-3402-6111

○受講申込み

1. 申込方法 : WEB又はFAXにてお申し込みください
2. 募集人員 : 20名 (申込順)
3. 申込締切 : 2012年4月30日 (日)
4. 事前説明会 : 2012年4月22日 (日) (別途本会本部HPでご案内)
5. 受講料 : 200,000円 (消費税、昼食代、懇談会代を含む)
6. 振込先 : みずほ銀行麹町支店

口座名義 社団法人日本経営士会 普通預金 1614618

○お問い合わせ先

社団法人日本経営士会 担当: 田中洋子 (メール office@keieishikai.com)

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D

会議・研究会開催報告

■研修会

12月 研修会

平成22年12月17日(土) 15:00~17:00

船橋市中央公民館

テーマ:「研究会活動中間報告」

講師: コンサルティング研究会 林 堯夫 会員、 エコ研究会 林 久雄 会員
農業観光研究会 西村 豊 会員

参加者: 金子昌夫、高野充昭、新見健司、鶴岡義明、林 久雄、山下恭司、藤江隆平、西村 豊、
山田 一、鈴木伸一

千葉支部で従来から活動しているコンサルティング研究会と農業観光研究会と新しく活動を始めたエコ研究会の3つの研究会について、年末の慌ただしい中に活動発表会を行いました。

まずコンサルティング研究会は、「間違いを直せば業績は改善する」の小冊子を活用した各商工会議所に向けての講演会が大変好評であったとのこと。またその活動の集大成として、千葉県経営者協会第123回政協フォーラムでは講師として大久保 篤 会員が、参加企業出席者に向けて提言した内容に対し、千葉県経営者協会専務理事 花澤和一氏から感謝状を授与されました。

コンサルティング研究会の今後の活動は、大久保会員が「間違いを直せば業績は改善する」の第2弾にあたる冊子と、林 堯夫 会員の逆境期のときこそ営業を強化しなくてはならないと「生産財の営業を強くするには」という冊子を立て続けに作成し配布を開始する予定であるとのこと。

月1、2回のペースで活動を続けるコンサルティング研究会は、新規会員求めているとのことですので、メーリングリスト、広報誌等を通じて参加者の募集を行いたいと思います。

農業観光研究会は、テーマをひとつに絞るのではなく将来の活動につながるものを得るため積極的に参加をすることを行なっています。

ちばの「食」産業連絡協議会への参加では、ちばの農林水産業が6次産業化を見据えて加工開発にもっと力を入れて行く必要があるとのことで、農業観光研究会としては継続的に参加することで、活動の方向性を探りたいとのこと。

千葉県アグリトップランナー育成事業の入札参加については、昨年同様株式会社流通研究所が落札してしまった。今後とも継続してチャレンジしていきたい。

千葉県夷隅郡大多喜町での町興し提案 ~大多喜祭りで薪能を~については、能楽師シテ方観世流九世の橋岡久太郎さま、「いすみ鉄道株式会社」の鳥塚亮社長とのご縁で、「夷隅郡大多喜町の町興し」に取り組むことにしました。「大多喜お城祭り」でこの「薪能」を実施出来ないだろうかということで、山田会員と山下会員が一緒になって大多喜町役場や地元の青年部、おかみさん会、大多喜高校などを精力的に回って説得して頂くが、何と言っても、地元の方々の「何とかしなければ」という気持ちがないと前には進めない。まだまだ身を結ぶには時間がかかりそうである。

ファーム見学会による農業生産者との接触については、木更津にある平野商事さんが農業事業として経営している「パラダイスファーム木更津」という農場と農業生産法人 株式会社千葉農産に農場見学をさせていただいた。

このように農業観光研究会は、ビジネスの種を積極的に探して活動を進めていく予定です。

コンサルティング研究会の分科会の位置づけでエコ研究会が活動を開始しました。当面はエコ検定受験者の支援研修を目標に、各参加者のスキルアップを行うためにテーマを決めてエコロジー活動の実態について研究を進めたいと考えています。また参加者が多くなることが今後の活動の活性化につながるので会員を募集したいとのことです。

エコ研究会参加するにはエコロジーに関する知識が必要ですので、東京商工会議所のエコ検定合格と、できれば環境経営士も目指して欲しいとのことです。日本経営士会としてもコンパクトエコシステムの普及などを進めているので、エコはこれから経営士の取り組みとして重要なテーマです。

2月 研修会

平成22年2月25日(土) 15:00~17:00

船橋中央公民館

テーマ：①「日本セールスレップ協会」と「日本観光文化検定協会」

②日本経営士会定款変更説明会

講師：北 賢治 会員（東京支部、セールスレップ協会常務理事）

本部 鶴岡 義明 専務理事

参加者：岩野邦久、榎田國男、鈴木伸一、大塚亜喜雄、金子昌夫、西村 豊、高野充昭、山下恭司、

新見健司、藤江隆平、林 久雄、大久保 篤、山田 一

■「日本セールスレップ協会」と「日本観光文化検定協会」

東京支部 北 会員よりビジネスチャンスの一環として、千葉支部でも検討してはどうかという提案を2件程頂きました。

①日本セールスレップ協会によるセールスレップ人材育成

セールスレップとは、工業製品などの専門性の高い商品を提案型営業スタイルで、企業や行政に向けて代理販売する個人事業を言い、メーカーと小売業の橋渡し役のことです。セールスレップに求められる能力としては①小売りに関する様々な知識を持っていること②提案力があること。これらの能力育成のために、セールスレップの研修を日本セールスレップ協会が行っています。営業に関する基礎知識・方法の再確認、人材の育成等は、まさに経営士として取り組める分野と思われます。最近では、ハローワークでの取得資格の認定の中にこの「セールスレップ」の資格も入ってきているそうです。それだけ、この資格が社会に認められてきているということです。

■日本観光文化検定試験による観光士の人材育成

観光庁を中心としたインバンド政策のもと、海外からの観光客の誘因、更には国内での着地型観光による地域おこし等の観光に対するビジネスが展開され始めております。着地型観光に注目し、地域おこしを手掛けようとする方たちを対象に、日本観光文化検定協会は観光士養成の講座を開いており、この分野での講座

にマーケティング戦略等経営士と密接なものがあります。千葉支部として日本観光文化検定の講座を受け持つのも、会員へのビジネスチャンスが広がるのではという提案でした。

■日本経営士会定款変更に掛る説明

鶴岡専務理事により来る6月14日開催の総会で諮られる新定款についての説明がありました。この新定款の審議で経営士会全会員の4分の3以上の承認があって初めて、一般社団法人化への道が開かれるという重大な問題です。この定款案が総会で否決されるようなことにもなると、日本経営士会自体が解散に追い込まれ、私たち経営士の存亡にかかわる程の問題であることの説明がなされました。是非共、各支部で支部に所属する全会員に今回の総会の意義及び新定款の位置づけを周知徹底して頂きたいと、お願いがありました。千葉支部としては、6月14日の総会に向けて、休眠会員、連絡不能な会員等を再調査し全会員に今回の定款変更に関して周知徹底していかねばなりません。総会出席者若しくは委任状提出の会員に対し定款変更の審議に賛意を表明して頂く必要があります。



会場などの急な変更は支部ホームページ、会員連絡用ブログにてお知らせしています。各研修会に出席する際は、ホームページをご確認の上ご来場ください。

千葉支部ホームページ <http://www.keieishi-chiba.org/>

会員連絡用ブログ <http://keieishi-chiba-info.sblo.jp/>

■ 幹事会

第5回 常任（臨時）幹事会

平成23年1月28日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋中央公民館

参加者 西村 豊、山田 一、大塚亜喜夫、鶴岡義明、鈴木伸一

1. 本部の情報について
2. 支部の体制について
3. 定款説明会の実施について

第4回 幹事会

平成23年1月29日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、小塚彦明、林 久雄、中嶋清介、榎田國男、山下恭司、
藤江隆平、岩野邦久、鶴岡義明

1. 支部長会議報告
2. ホームページ更新担当者の変更
3. 8月までの収支報告
4. MPP の外部向け報告
5. 環境経営士講座

第5回幹事会

平成23年2月26日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、林 久雄、中嶋清介、榎田 國男、山下恭司、
藤江隆平、岩野邦久、鶴岡義明

1. 全国研参加報告
2. 来年度の事業計画について
3. セールスレップ協会からの提携事業の件
4. 支部長選挙、支部役員選任の方法について

支部選挙結果のお知らせ

本年は2年ごとの支部役員選挙の年でありましたが、本部定款の変更という大きな課題に対応するため、例年より早く選挙が実施され、支部長として西村 豊 会員が当選いたしました。現在支部体制の検討を行っておりますので、支部報告会でご紹介できる運びです。

また、千葉支部の鶴岡義明会員が理事に当選され、その後専務理事に就任されました。併せてご報告させていただきます。

■コンサルティング研究会 第10回(12月)

平成23年12月10日(土) 15:30~18:00

場 所 千葉県生涯学習センター小会議室

参加者：大久保 篤、岩野邦久、林 堯夫、若月英司

1. 支部研修会におけるコンサルティング研究会の活動報告について
2. 中小企業の営業強化プロジェクト「生産財の営業を強くするには」内容検討

第11回(12月)

平成23年12月25日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉県生涯学習センター小会議室

参加者：河井成夫(特別参加)、大久保 篤、岩野邦久、林 堯夫、若月英司

1. 支部研修会における各研究会の活動報告
2. 中小企業の営業強化プロジェクト「生産財の営業を強くするには」内容検討

第12回(1月)

平成24年1月8日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉県生涯学習センター小会議室

参加者：岩野邦久、林 堯夫、大久保 篤、金子昌夫、稲村和彦、若月英司

1. 中小企業の営業強化プロジェクト「生産財の営業を強くするには」内容検討
2. 社長啓発プロジェクト「間違いを直せば業績は改善する」第2弾内容検討

第13回(1月)

平成24年1月29日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉県生涯学習センター小会議室

参加者：岩野邦久、林 堯夫、大久保 篤、金子昌夫、稲村和彦、若月英司

1. 社長啓発プロジェクト “間違いを直せば業績は改善する” 第2弾の内容検討
2. “営業人材育成用テキスト「生産財の営業を強くするには」印刷製本の見積り結果について

第14回(2月)

平成24年2月19日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉県生涯学習センター小会議室

参加者：岩野邦久、林 堯夫、大久保 篤、金子昌夫、稲村和彦、若月英司

1. 社長啓発プロジェクト “間違いを直せば業績は改善する” 第2弾の内容検討
2. 中小企業の営業強化プロジェクト「生産財の営業を強くするには」
及び社長啓発プロジェクト「間違いを直せば業績は改善する」第2弾小冊子印刷について

第15回(3月)

平成24年3月11日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉県生涯学習センター小会議室

参加者：岩野邦久、林 堯夫、大久保 篤、金子昌夫、稲村和彦、若月英司

1. 小冊子「社長啓発プロジェクト“間違いを直せば業績は改善する”第2弾」の外部への説明
2. 平成24年度テーマと当研究会加入会員の自己紹介

■農業・観光研究会 平成23年度の活動

| 活動日 | 活動内容 |
|-----------|---|
| 4月18日(月) | 千葉県農林水産部生産販売振興課との取組開始(県庁にて打合せ) |
| 5月23日(月) | 2011年度の活動について検討 |
| 6月3日(金) | いすみ鉄道訪問(夷隅郡大多喜町での町興し提案:大多喜祭りで薪能) |
| 6月10日(金) | 大多喜町長を訪問し、秋の大多喜お城祭りでのイベント(薪能)提案 |
| 7月1日(金) | 関東農政局 関東地域六次産業化フォーラムへの参加 |
| 7月18日(月) | 千葉県農林水産部担い手支援課アグリトップランナー育成事業参加応募企画検討 |
| 8月1日(月) | 入札プレゼンテーション (本年度で2年目のトライでしたが、結果は不採用) |
| 9月20日(火) | 千葉県農林水産部販売振興課、第一回6次産業化研修会打合せ 千葉県商工労働部訪問、夷隅地域町興しの支援依頼 |
| 9月24日(土) | 県入札結果報告。ちばの「食」産業連絡協議会への参画決定 |
| 10月8日(土) | パラダイスファーム木更津、農業生産法人千葉農産訪問、ファーム見学 |
| 10月24日(月) | 第一回6次産業化研修会講演会実施(高野会員の講演:生産者向け) |
| 11月3日(木) | (株)千葉農産訪問、千葉県産業振興センターの農商工連携担当者同行 |

ちばの「食」産業連絡協議会への参加 ー行政との連携

ちばの農林水産業が6次産業化を見据えて加工開発にもっと力を入れて行く必要がある。

千葉県農林水産部生産販売振興課など行政との情報交換を続ける。

ちば 農林漁業の課題の特定と対策案の検討

千葉県アグリトップランナー育成事業への参加 ー事業化の活動

入札に応札したが、株式会社流通研究所に落札された。来年以降も事業化に期待する。

千葉県夷隅郡大多喜町での町興し提案 ～大多喜祭りで薪能を～ ー観光・街作りのプランニング

「いすみ鉄道株式会社」の鳥塚亮社長に千葉県経営者協会で公開講演会を開催した。

「ちばが世界に誇る伝統的文化の継承」能楽師シテ方観世流九世 橋岡久太郎氏の記念講演会を実施した。

「大多喜お城祭り」でこの「薪能」を実施出来ないか、大多喜町の町興しの企画を提案する。

大多喜町役場や地元の青年部、おかみさん会、大多喜高校などを精力的に回って説得を実施中である。

ファーム見学会 ー農業の現場の理解

パラダイス木更津ファーム、農業生産法人 株式会社千葉農産、パソナゆめファームの見学会を実施した。

大多喜町町長と面談

平成 23 年 12 月 14 日（水）

場 所 千葉県大多喜町役場

参加者：山田 一、山下恭司

大多喜町での薪能実現に向けて大多喜町 飯島町長に面談した。

1. 薪能実現に向けたシナリオのプレゼンテーション
2. 町の支援に関する情報交換

神崎町まちづくり打合せ

平成 23 年 2 月 21 日（月）14:00～17:00

場 所 千葉県神成田市内

参加者：山田 一、林 久雄、山下恭司

神崎町のまちづくり及び地域振興の実現に関して、神崎町まちづくり厚生常任委員 島津議員、神崎町まちづくり課職員等から相談を受けた。

1. 圏央道を利用した地域振興、まちづくりのプラン検討
2. 「発酵の里 神崎」をコンセプトとした具体案検討
3. 地域活性化拠点づくりの案検討

■MPP研修会

平成 23 年 11 月 26 日（土）15:00～18:00

場 所 船橋市市民会館

参加者：2 チーム、9 名

テーマ：「事故発生に対する危機管理」－中小機械メーカーの保守事例－

MPP ケースは中小特殊機械製造企業で顧客から引き取った機械の解体作業時に爆発事故があり、その後の対応について考えると会社の危機管理に関するテーマであった。

A、B の両チームはメンバーそれぞれの知識・経験をもとに幅広く討議し、多角的視点から内容把握・解析がなされ、要諦を押さえた議論がなされたのではないかと考える。

今回のケースは、原子力発電所の事故という時節柄、企業の想定しえない事故をどのように想定するかを検討するという観点で、役にたつケースであった。

■中小企業会計啓発・普及セミナー

平成 23 年 11 月 22 日 (火) 14:00~16:00

場 所 船橋市商工会議所

講 師：山下恭司 会員

かねてから本部から開催を要望されておりました「中小企業会計啓発・普及セミナー」を船橋商工会議所において実施いたしました。講師は産能大学等でも会計講座を行った山下会員で、一般企業や商店など中小零細企業者向けの会計業務の講習ですが、多くの参加者を得たことで、今後千葉支部としても会計セミナーなど一般向けセミナーの実施を進めていきたいと思っております。

支部の活動にぜひご参加ください

副支部長 鈴木伸一

会員諸氏の皆様には、支部の活動にご協力いただきありがとうございます。

現在千葉支部では、従来の内向きの研修会よりも、ビジネスにつながる活動を重視しておこなっております。例えば各研究会は、ビジネスに直結する活動として、行政各機関、商工会議所、千葉県経営者協会等の諸団体と連携しながら、ビジネス面での成果をあげるべく努力をいたしております。その詳細は、メーリングリストや支部報でご紹介いたしておりますが、実際にご参加いただき雰囲気を味わい、仲間を獲得していただくことの方が重要と感じております。

同じ経営士という肩書きを持っているのですが、会員相互の交流が少なく経営士になったはいいいけれど、いざ実施のコンサルタントの活動とはどのように行ったらよいかかわからないという方はいらっしゃらないでしょうか。特に企業内経営士の方は、日々のお仕事が忙しいのは重々承知しておりますが、定年後にコンサルタント活動を行うためにも、若いうちから長期に渡る研鑽を行い実力をつけることが重要になります。

千葉県の地域性として東京との結びつきが強く、地元との関係が希薄になりがちです。千葉支部では、日々の活動を通じて、地元行政や企業との連携を模索しております。その活動の接点となるのが支部の各研究会です。

千葉支部の各研究会では、それぞれのテーマと活動目標を持って事業開拓をおこなっております。ぜひ支部の活動、研究会にご参加いただきたくお願いいたします。各研究会はオープンに参加いただいても構いません。活動内容が気にいっていただければ、ぜひ積極的に参加いただければと思います。

ひとりだけでは活動しきれないこでも、経営士どうしの連携によるチームコンサルティングが目指すところとあります。千葉支部では、まだまだ薄謝ではありますが、コンサルフィーや講師謝礼を伴う仕事がございます。ぜひそのような活動にご協力をいただくとともに、能力開発の役にたていただければ幸いです。

支部会員の減少と高齢化による参加率の低下に歯止めがかからないのは支部執行部としての力不足を感じる次第ではありますが、ぜひ皆さまの参加をいただきお力を拝借することで、さらなる支部活動の充実をはかっていきたいと思っております。

今後とも支部の活動にご協力いただきたく、よろしくお願いたします。

■コンサルティング研究会

テーマ：実践的コンサルティング活動の研究と顧客獲得活動

- ・ISO 取得コンサルティング
- ・「社長啓発プロジェクト –間違いを直せば業績は改善する–」の講演
- ・営業人材育成用テキスト「生産財の営業を強くするには」の作成

連絡先：大久保 篤 会員 a-okubo@sea.plala.or.jp

■農業観光研究会

テーマ：ちばの農業・観光

- ・行政への協力、ちばの「食」産業連絡協議会への参加
- ・千葉県アグリトップランナー育成事業への参加
- ・千葉県夷隅郡大多喜町での町興し提案
- ・ファーム見学会、県内観光地の見学会の開催

連絡先：西村 豊 会員 yutaka.nishimura.pv@y8.dion.ne.jp

■エコ研究会（コンサルティング研究会環境経営研究部会）

テーマ：エコロジーと環境経営の実践

- ・エコ検定の合格講座の開催
- ・コンパクトエコシステム（CES）の導入支援
- ・環境経営士育成

連絡先：林 久雄 会員 hayashi-hisao.ssi@yacht.ocn.ne.jp

■MPP 研修

テーマ：外部向け MPP の実践

- ・千葉県経営者協会向け MPP 研修の開催
- ・MPP リーダーの育成

連絡先：中嶋清介 会員 k-nakajima@kib.biglobe.ne.jp

■その他

- ・無料経営診断の相談員（平成23年度有料コンサルの実績あり）
- ・本部委託業務の開催時の講師委託（経営士要請講座、会計セミナー等多数）
- ・支部活動研修等開催時の講師委託（農商工連携セミナー等多数）
- ・(株) パソナドゥタンク業務委託
- ・(財) 日本ガス機器検査協会業務委託

QMS(ISO9001), EMS(ISO14001), OHSAS(OHSAS18001), FSMS(ISO22000)の顧客紹介

連絡先：山田 一 会員 enshin@js4.so-net.ne.jp

本部総会定款改訂ご賛同のお願い

千葉支部長 西村 豊

先般、本部機関誌マネジメントコンサルタントでも周知されましたように、一般社団法人へ移行するための定款変更が今通常総会に上程されます。定款変更を行うには会員の4分の3の賛同が必要となります。一般社団法人に移行できない場合は、平成25年11月末日に会は自然消滅となります。日本経営士会を存続させると共に新たに一般社団法人としての活動を進めるためにも皆様のご協力が必要となります。ぜひ6月8日（金）に開催されます総会に参加されるか、定款変更賛成する委任状をご送付いただくことをお願いいたします。

後日、本部より届きます総会資料に目を通していただきましてよろしくご対応ください。

また、今回につきましては重要な意思決定が行われますので、参加意思・委任状の提出の状況を把握する活動をおこなっております。状況が思わしくない場合には直接、皆様にご連絡をすることもあるかと思いますが、その節はご面倒でもご対応いただきますよう重ねてお願いいたします。

■ 研修会の予定

4月 研修会開催のお知らせ

開催日 平成24年4月28日（土） 場 所 船橋市中央公民館
講 師 島川 憲夫 会員（神奈川県会） 時 間：15：00～17：00
テーマ 経営士と環境との関わり

—今経営士に求められているものは何か、ビジネス展開に必要なことはなにか—

平成24年度第1回目の研修会のご案内です。

いち早く環境経営士の資格を取得し、活躍の場を広げている島川会員の登場です。環境経営士は経営士会が提唱するコンパクトエコシステムの推進母体として今注目されている資格です。環境と経営の関係、そして経営士がどのように環境に関わっていくべきかをお話いただきます。ご期待ください。

メールアドレスを変更した際は、広報担当 鈴木（shin_suzuki@nifty.com）まで、新しいメールアドレスをお知らせください。メール未着の場合は、封書による再送ができない場合がございます。その際は支部報を支部ホームページに掲載しておりますので、ダウンロードをお願いします。

記事ご協力をお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL：090-5446-2808 FAX：04-7133-1303

MAIL：shin_suzuki@nifty.com